

# 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立比々多小学校
-----	-------------

## 1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして伝えたいことを明確にすることができている。</li> <li>・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することができている。</li> <li>・話し言葉と書き言葉の違いに気付くことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を文の中で正しく使うこと。</li> <li>・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。</li> <li>・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量の関係を口を用いた式で表すことができている。</li> <li>・直方体の見取り図について理解し、かくことができている。</li> <li>・円グラフの特徴を理解し、読み取ることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道のりが等しい場合の速さについて時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。</li> <li>・球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと。</li> <li>・速さの意味について理解すること。</li> <li>・示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうか判断すること。</li> </ul>
質問調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の生活リズムが整っている児童が比較的多い。</li> <li>・自分には良いところがあり、それを先生が認めてくれていると感じている児童が多い。</li> <li>・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると思っている児童の割合が高い。</li> <li>・人が困っている時に進んで助け、人の役に立つ人間になりたい、いじめはどんな理由があってもいけないと思っている児童が多い。</li> <li>・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている児童の割合が高い。</li> <li>・国語や算数の学習が大切だと思っている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日にテレビゲームをしている時間が比較的に長いこと。</li> <li>・土日に勉強をする時間が短いこと。</li> <li>・新聞を読んでいる児童が少ないこと。</li> <li>・総合的な学習の際、自分で課題を立てて情報を集め、整理して発表する学習活動に取り組む児童が比較的に少ないこと。</li> <li>・算数や英語の勉強が好きではない児童が多いこと。</li> <li>・国語の解答時間が足りなかったと答えた児童が多いこと。</li> </ul>

### 2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p><b>【国語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テストの時だけでなく、生活の中で積極的に漢字を使っていくようにする。</li> <li>・資料を活用するなどして、自分の考えを相手に伝えるためにどのようにしたらいいか工夫していく。話している時は、相手の表情や反応をみるなどでもできるようにする。</li> <li>・登場人物の人物像を根拠となる描写を明らかにしながら読み進めるようにする。また、交流の際のグループ編成、交流の仕方なども工夫していく。低・中・高学年と児童の成長に合わせ、系統立てた指導の工夫もしていく。</li> </ul> <p><b>【算数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの数量の関係に着目し、速さなどの単位量当たりの大きさ及び割合の意味、表し方について理解を深めていく。また、日常生活の問題場面に照らし合わせ、求めた単位量当たりの大きさが妥当かどうか判断する力も付けていく。</li> <li>・身の回りの形から図形を捉え、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにしていく。</li> </ul>
---

### 2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>ほぼ同じ時間に起床、就寝するなど、生活のリズムが整っている児童が多いです。自分にはよいところがあるとわかっていて、先生がそれを認めてくれていると思っている児童が多いです。また、困っていることや不安なことを先生や周りの大人に相談できると答えている児童も多く、安心しています。引き続き、家庭、地域、学校で協力し、児童の健やかな成長を支えていきたいと思えます。</p> <p>児童が平日や休日にテレビゲーム(携帯電話やスマートフォンを含む)をする時間が長いことが気になりました。それに伴い、学習する時間が短くなり、活字離れも進んでいるようです。携帯電話などを使うときのご家庭の約束を守ろうとしている児童の姿もうかがえますが、あまり守れていない現状もあるようです。学校でも引き続き情報モラル等の指導をしますが、ご家庭でも再度、ルールの徹底と安全対策をお願いいたします。</p> <p>学習面では、国語や算数、英語の学習は将来に必要なと感じてはいるものの、学習が好きと答えている児童は少ない結果となりました。学習する楽しさを実感できるよう、学校では授業改善に引き続き取り組んでいきたいと思えます。ご家庭でも準備や支援などのご協力をお願いいたします。</p>
--